



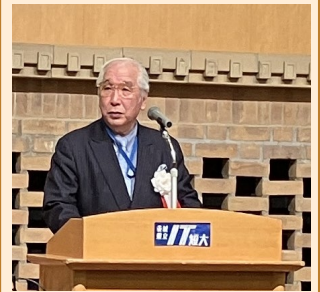
★ 将来考える貴重な機会！



主な登壇者



次代を担うIT人材育成のため『人材育成交流プラザ』が、12月12日(木)にホテルイクビュー水戸で開催されました。この交流プラザには、県内のDXなどに取り組む企業25社の関係者と本校学生、「いばらきP-TECH」参加校の高校生合わせて約230人が参加しました。



↑ 外山和夫会長



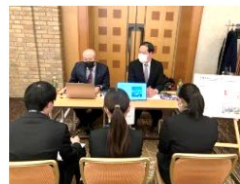
↑ 講演する日本IBM(株) 小原盛幹氏



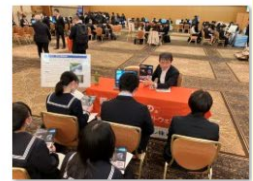
↑ 学生代表であいさつする山中悠梨音さん

開会式で、主催者である茨城職業能力開発推進協議会の外山和夫会長は「IT人材の育成が急務であり、ITを学ぶ学生の皆さんにとって、将来を考える貴重な機会」と話されました。学生代表の山中悠梨音さん(那珂高卒)は、「ITの先進技術や、IT技術者の企業での働き方を直接学び役立てたい」と意欲を示しました。

基調講演では、日本IBM(株)の小原盛幹氏から「AIをよりよく活用するためには、安全で信頼できるAIとなるよう協力して育てることが重要」などと話され、分かりやすく示唆に富む講演でした。交流会では、本校を卒業し企業で働くIT技術者が事業内容や技術をアピールしていました。学生らは真剣に聞き入り活発な質疑応答が行われました。企業からは「高校生や短大生の声を直接聞いて良かった」、「学生に知って頂きとても有意義」と評価していました。また、学生からは「会社の雰囲気や仕事内容を知ることが出来た」「自分が目指す就職活動に役立った」と目を輝かせていました。



丁寧に説明する企業の皆さん



企業の説明にメモを取って聞き入る学生達！

